

ミネルバ

127号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp>

〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上

TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

◎ 「ミネルバ」は教育センターホームページでご覧いただけます。

掲 載 記 事

- 所長あいさつ
- センターが進める研究の内容
- 今年度の研修講座の紹介
- 教育センター 知っ得情報

「学校や先生方のニーズに応えられる教育センターを目指して」

所長 栗山 良次



新緑がまぶしく草木からは溢れる生命力を感じる季節になりました。

皆さんの学校では、児童生徒一人一人が、新しい学年となり、それぞれの花を咲かせようと新たな目標を立て、やる気をみなぎらせ期待に胸を膨らませているものと思います。

昨年度は、いじめによる自殺や体罰問題等、教育界にとって大きな事件が起きました。これら諸課題の解決に向けて、鋭意取り組んでおられることと存じます。

教育センターでは、先生方の一助となるよう、今年度の運営方針を、

「子どもの明日を拓く[授業力][学級経営力][教育研究力]向上に資する支援推進・充実」

A 学ぶ価値を実感できる授業 B 親和的、支持的な人間関係が確立した学級

C 学校力を高める校内研究等

とし、より現場に役立つように研修・講座事業や調査・研究事業、相談・支援事業のさらなる充実・改善を図っていきます。

研修・講座事業では、研修講座において、「確かな学力と豊かな心を育む教育の推進」をテーマとし、指導と評価の一体化を具現化する研修講座、ICT利活用に関わる研修講座、居心地のよい学級(学校)づくりに関わる研修講座等を実施します。大学教授や、学校現場で実践を重ねておられる先生を招いての講義・実践発表、電子黒板やタブレット端末を活用した研究授業・模擬授業・指導展開案の提案などを盛り込んでいます。ぜひ積極的に受講し今後の指導に生かしてください。

調査・研究事業では、教育センターで行っている研究調査事業を教科等部会と連携し、研究内容を取り入れた公開授業研究会等を実施します。ぜひ気軽にご参加ください。

また、研究の成果や学習状況調査の分析結果などは、今年度も随時 Web 発信していきます。教育センターのホームページに掲載している研究成果等を積極的にご活用ください。

相談・支援事業では、今年度も学校等支援事業として、学校や教科部会等の要請に応じて、教科・領域や教育相談等のこれまでの研究成果や学習状況調査の結果についての情報提供を積極的に進めていきます。ぜひ気軽に相談し、積極的にご活用ください。

児童生徒一人一人の思いや願いを大切にする学校や先生方のニーズに応えられる教育センターを目指して、先生方一人一人の一步を大切にし、創意工夫を支援していきたいと考えています。

ミネルバ

由来

「ミネルバ」はローマ神話に由来する学問・知恵を司る女神の名前です。女神の連れているフクロウは知恵の象徴だと言われています。時代が転換していく状況の中で英知をもって飛躍し、そこから新しい時代を切り拓く願いが込められています。

教育センターが進める研究の内容

教育センターでは、佐賀県の実教育現場が抱える課題について、具体的な手立てを講じた検証授業、教材の開発等の実践的な研究に取り組み、改善策等を提案しています。平成24年度は、プロジェクト研究や個別実践研究等の研究を進めました。研究成果は、教育センターホームページに掲載しています。

＜ 小学校音楽 ＞

表現と鑑賞の関連を図った指導法の工夫

〔共通事項〕の「旋律」を中心に表現及び鑑賞の各活動を関連させた実践を提案しています。また、授業で使える〔共通事項〕カード、ワークシート、学習環境づくりとしての学習カードなどを掲載しています。



【学習環境づくりとしての学習カード】

＜ 小学校図画工作 ＞

共同してつくりだすよさを感じ取れる題材の開発

授業では、形や色、イメージなどの〔共通事項〕を視点とした交流活動の場を設定しました。一つのテーマで個々人が製作をして、最後にそれぞれの作品を組み合わせる「作品共同型」の授業を提案しています。



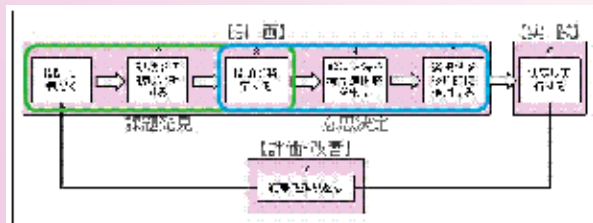
【共通事項に関する児童の発言】

【児童の作品】

＜ 中学校技術・家庭（家庭分野） ＞

問題解決的な学習の進め方

生活をよりよくしようとする生徒を育てる問題解決的な学習の進め方を示しました。「計画」の段階を大切に、話し合い活動を取り入れながら、よりよい住生活への実践意欲につながった事例を掲載しています。



【問題解決的な学習の進め方】

＜ 中学校道徳 ＞

人の生き方から学ぶ自作資料作成と授業づくり

夢や目標の実現に向けて努力することの大切さを実感させるために、生きる指針となる人物の生き方を基にした2つの自作資料を作成しました。自作資料作成の手順と授業づくりの手立ても掲載しています。



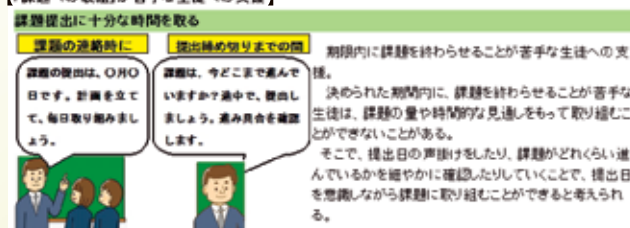
【自作資料を開発する際の手順】

＜ 高等学校特別支援教育 ＞

高等学校における特別支援教育の推進に向けて

県内の高校生約1000名を対象にしたアンケートの結果から明らかになった高校生の学習における課題を踏まえて、高等学校において実施することが可能と思われる支援を領域別(話す・聞く等)に掲載しています。

【「課題への取組」が苦手な生徒への支援】



平成24年度の小学校国語、中学校国語、小学校算数、中学校数学のプロジェクト研究では、これまで研究してきた授業実践の有効性をさらに高めるために、以下の点について研究を進めました。

- ・ 学習指導要領の趣旨を反映した学習評価の考え方に基づいた評価規準や評価方法の具体化
- ・ ICTや学習プリントの効果的な活用

各教科の詳細な研究内容については、教育センターホームページでご覧ください。

今年度の研修講座の紹介

教育センターでは、学習指導要領に対応した、より実践的な研修内容を提供することで、確かな学力と豊かな心を育む教育の推進を行っていきます。多くの講座を用意して、先生方をお待ちしています。今年度新設した7つの講座と、公開講座8つを紹介します。詳細は教育センターホームページの研修講座案内をご覧ください。申込みは、教頭先生にご相談ください。



※「受講者募集」のポスターは各学校に配付しています。

新設講座

学習状況調査の分析・活用講座〔小学校〕〔中学校〕 (分析ツールを活用した指導改善の進め方)

[小]6/18(火)

[中]6/21(金)

佐賀県小・中学校学習状況調査結果の自校のデータを基に分析ツールを作成し、分析ツールの見方や校内研修の進め方について学ぶことができます。

高校情報科講座

(情報社会に対応できる実践力を育てる授業づくり)

7/22(月)

学習指導要領改訂の主旨を踏まえた、情報教育の目標である「情報活用の実践力を育てる」授業づくりについて学ぶことができます。

いじめによる問題行動等の予防と対応講座

8/6(火)

いじめによる問題行動等の現状や今後の生徒指導及び校内支援体制の在り方についての基本的理解を深めることができます。午前中は公開講座です。

子どもや保護者への援助に役立つ認知行動療法講座

7/23(火)

認知行動療法についての講義やこの技法を用いた事例を通して、子どもや保護者の援助に役立つ関わり方を学ぶことができます。

ICT利活用講座〔小学校1期・2期〕

7/ 4(木), 10/3(木)

ICT利活用講座〔中学校1期・2期〕

6/14(金), 10/4(金)

ICT利活用講座〔高等学校1期・2期〕

6/ 5(水), 10/7(月)

電子黒板の操作やタブレット端末型の実習や教材作成を通して、ICT利活用の基本的な技術を身に付けることができます。

公開講座

公開講座のみの受講も結構ですので、ぜひ、ご参加ください。



講座名	講師	日時等
すぐに生かせる生徒指導実践講座※1	福岡教育大学教職大学院教育学研究科 教授 小泉 令三	5月14日(火) 13:00~16:10
キャリア教育講座※2	広島大学キャリアセンター 教授 森 玲子	5月24日(金) 13:00~16:10
中学校英語科Ⅰ講座・高校英語科Ⅰ講座	神奈川大学外国語学部 准教授 久保野 雅史	7月24日(水) 13:00~16:10
中学校数学科Ⅱ講座	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 水谷 尚人	8月 6日(火) 13:00~16:10
いじめによる問題行動等の予防と対応講座	兵庫教育大学大学院学校教育学研究科 教授 新井 肇	8月 6日(火) 9:00~12:00
発達障害のある子どもがよりよく青年期を送るための支援講座	東京学芸大学教育学部 教授 高橋 智	8月21日(水) 9:10~12:00【アバンセ】
子ども虐待の現状の理解と対応講座	広島市こども療育センター 心療部長 岡田 隆介	8月27日(火) 9:00~12:00
小・中学校特別活動講座	宗像市立玄海東小学校 校長 脇田 哲郎	10月29日(火) 13:00~16:10

※1・2 「研修講座申込システム」による申込は、4月19日までです。追加申込については、短期研修担当 TEL:0952-62-5212(直通)に問い合わせてください。

長期研修生の紹介

通年（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

長期研修事業は、県内の学校教育における教科・領域等課題の解決を目指した研修制度です。4月から3名の方が1年間の長期研修生として来られています。なお、後期には16名の方が半年間の長期研修生として来られる予定です。

研究テーマ	学校名	氏名	教科・領域等
確かな学力の定着	南川副小学校	笠 恵子	国語
確かな学力の定着	御船が丘小学校	小野 美和	国語
研修体系の在り方	中原特別支援学校	千々岩 峰子	学校保健

教育センターをご活用ください

各教科等部会や各種研修会等で、教育センターの研修室や演習室をぜひご活用ください。もちろん無料です。手続きに関するお問い合わせは、下記の総務課までお願いします。詳しくは、教育センターホームページの『各種案内』→「利用案内」をご覧ください。

教育センター総務課 TEL 0952-62-5211



第14回教育実践交流会を開催しました



習慣の専門家 佐藤 伝氏の基調講演！

分科会・ワークショップで参加者同士の交流



平成25年2月22日、第14回教育実践交流会を開催しました。全体会では、教育論文・ICT利活用実践研究入賞者の表彰及び、今年度は佐藤伝氏による『教師のプロ意識が子どもの可能性を拓く』―人生の羅針盤としての、行動習慣コンパス―というテーマで基調講演をしていただきました。参加者からは、「いい気分の大切さを具体的に教えていただき興味深かった。」「自分の人生、生き方を見つめ直すとてもよい機会になった。」等、講演を聞いて、元気をもらわれた様子でした。その後、入賞された先生方に研究内容を発表していただき、佐賀県内の優れた教育実践を聞くことができました。又、長期研修生は、ポスターセッション形式での研究成果発表を行いました。午後からは、分科会やワークショップに多数の先生方にご参加いただき、意見交換や協議、実験や演習等、様々な交流を行われ、充実した時間となりました。ご参加いただき、ありがとうございました。



佐藤 伝氏の基調講演



表彰式



論文入賞者による発表



長期研修生の
ポスターセッション



分科会（国語）



分科会（理科）



分科会（図画工作）



分科会（数学）



分科会（教育相談）

問い合わせ先

情報課 教育課程支援担当

TEL:0952-62-5238(直通)

メール: shien@saga-ed.jp